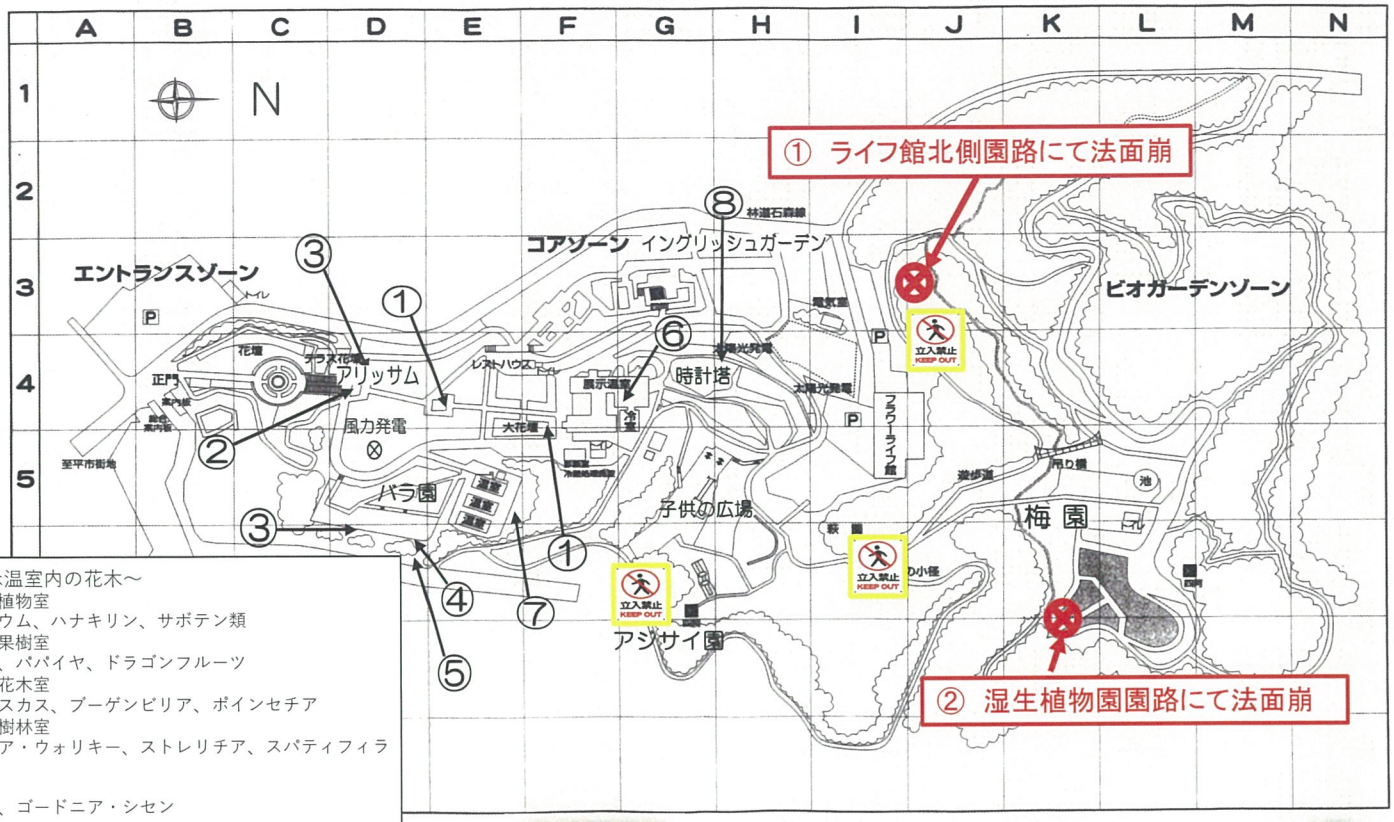
2019年度

フラワーセンター【1月の花】

※園内の植物の盗難が相次いでいます。
園内の植物は絶対にとらないでください。



～展示温室内の花木～
・多肉植物室
ゼラニウム、ハナキリン、サボテン類
・熱帯果樹室
バナナ、パパイヤ、ドラゴンフルーツ
・熱帯花木室
ハイビスカス、ブーゲンビリア、ポインセチア
・熱帯樹林室
ドンベア・ウォリキー、ストレリチア、スパティフィラム
・冷室
ネリネ、ゴードニア・シセン

①パンジー（大花壇）

スミレ科　一年草　原産：ヨーロッパ
パンジーは数千とも言われるたくさんの品種があり、花の大きさ・色・咲き方をはじめとして途方もないバラエティーがあります。パンジーの名前はフランス語のパンセ（物思い）に由来し、花の咲いている姿が物思いにふけっているように見えるところから名付けられました。

②ノースポール（風力発電の西側　大階段前）

キク科　一年草　原産：北アフリカ
非常に丈夫で、冬から春には欠かせない植物。
こぼれダネでよく増えます。冬の間は花は少なく、キクのように切れ込んだ緑の葉をボール状に茂らせ、春になると、株いっぱいに白い花を咲かせます。

③ロウバイ（ソシンロウバイ）

（ノースポール花壇の西側、バラ園東側）

ロウバイ科　落葉低木　原産：中国
中国原産の落葉樹で、真冬に満開の花を咲かせる数少ない花木の一つです。ロウバイは外側の花びらが黄色で、内側の花びらが褐色、ソシンロウバイは褐色の花びらのない、単色黄色のすっきりした花色のロウバイです。

④マンサク（バラ園東側）

マンサク科　落葉小高木　原産：中国
マンサクは春早く他の木々に先駆けて真っ先に花を咲かせます。名前の由来は、枝一杯に黄金色の糸状の花を咲かせることから「豊年満作」、あるいは葉に先駆けて咲くことから「まず咲く」が訛ったという説もあります。
※フラワーセンターでは、1月中旬～下旬頃の開花を予想しています。

⑤ツバキ（バラ園東側他）

ツバキ科　常緑中低木　原産：日本
ツバキは早春の花の少ない時期に咲く貴重な花です。
古くから園芸品種が存在しており、現在は３００を超えると言われています。現在でも茶花や生け垣に利用され、日本では最もなじみの深い植物のひとつです。

⑥ドンベア・ウォリキー（展示温室内）

アオギリ科　非耐寒性常緑低木　原産：マダガスカル諸島
アジサイをひっくり返したようなピンク色の美しい花を咲かせ、豪華で見ごたえがあります。花には甘い香りがあります。花の形から、別名「ピンクボール」とも呼ばれています。
※フラワーセンターでは、1月中旬頃の開花を予想しています。

⑦ヒメリュウキンカ（育成温室東側法面）

キンポウゲ科　多年草　原産：ヨーロッパ
漢字を当てると「姫立金花」、山野の湿った草原や川沿いの林床など湿り気のある場所などに自生します。葉は暗緑色のハート形、春になると花茎を伸ばして表面に光沢のある３～４ｃｍの黄色い花を次々と咲かせ、長いものでは１ヶ月ほど花を楽しむことができます。

⑧ヒイラギナンテン“チャリティー”（時計塔の脇）

メギ科　耐寒性常緑低木　原産：中国・台湾
和風庭園の庭木として人気の品種で、
チャリティーは特別な品種です。
黄色の芳香のある花穂が30ｃｍ以上伸び、
大変豪華です。
12月頃から1月まで咲き続けます。